

# Management Club Report

May.2006/Vol.41

## Monthly Opinion うまく行かない医院改革

### 改革と改善の違い

医院改革とは何でしょうか？「改革」とは「新しくよいものに変えること」ですので、医院改革は「医院を新しくよいものに変えること」になります。また、似た言葉に「改善」があります。辞書を引きますと「改善」とは「悪いところを改めて、もっとよくすること」とあります。

「改革」には「今までとは別の新しいステージに立つ」という意味がありそうですが、「改善」はそこまで大袈裟なものではなく、「今行っていることの目的や到達目標などの基本は変えずに、手法や手段の拙い点を改め、よりよい方法に変える」といった意味に留まるように感じます。

このような改革と改善の意味の違いを意識して両者の関係を考えますと次のように捉えることができそうです。

日々の改善の積み重ねの結果として改革が実現する  
あるいは逆の表現として

改革を進めるためには細かい改善を地道に進めることが必要

この2つの表現は、同じことを異なる方向からアプローチしているだけで結果的には同じ所に行きつくように見えますが、実は大きな違いがあります。それは、どちらも日々の改善努力を積み重ねる点では一致していますが、その改善目的と成果としてのビジョン設定を第一義的に明確化しているか否かという点での違いです。

における改善努力の目的は何かとえば、「現状の問題解決」です。その繰り返しが発展や進化に結び付き、時間の経過によって自然とよい形が実現することを漠然と狙ったもののように感じられます。すなわち初期段階におけるビジョン設定が明確ではないのです。したがって仕事の進め方や組織のシステムはより合理的で機能的なものへと進化していくでしょうが、「今までとは別の新しいステージに立つ」というような改革が実現するかどうかは分かりません。「新しいステージ」を途中の段階からでも意識すれば、進化を改革へと結び付けることができるでしょうが、意識しない限りは従前よりも優れた形になった程度の成果で終わるはずで

他方、は目的が「今までとは別の新しいステージに立つ」といった改革にありますので、新しいステージのイメージを伴ったビジョン設定が最初から明確です。その上で、ビジョンに到達するための行程の中に「日々の細かい改善の積み重ね」を置いていますので、改善努力も目的から外れた無駄なもの